



名古屋鉄道株式会社及び名鉄バス株式会社と 自動運転バスによる実証実験を実施します

4月8日(月)～12日(金)：瀬戸線尾張旭駅から愛知医科大学病院を結ぶ一般道(4.5km)

国立大学法人群馬大学（学長：平塚 浩士、以下：群馬大学）と、名古屋鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市中村区、代表取締役社長：安藤 隆司）及び名鉄バス株式会社（本社：愛知県名古屋市中村区、代表取締役社長：加藤 信貴）は、自動運転バスの実証実験を、愛知県尾張旭市及び長久手市において、4月8日（月）から12日（金）まで実施します。

本実験は、自動運転バスの走行や安全性向上に向けた検証と、自動運転に対する社会受容性の醸成を目的に実施するもので、公道におけるバスの自動運転の実証実験は、愛知県内では初の取り組みとなります。実験走行は、名古屋鉄道瀬戸線尾張旭駅を出発し、長久手市の愛知医科大学病院を到着点とする4.5 kmの区間で実施します。

自動運転バスの運行にあたっては、群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター等が研究開発を行なっている自動運転車や運行管制システムを活用します。本実験は、民間事業者における公道での自動運転実証実験の促進のために、国家戦略特区の事業として、2017年に愛知県に設置された「あいち自動運転ワンストップセンター」の支援を受けて実施します。

実験の概要については、[名古屋鉄道株式会社ウェブサイト](#)より、同日掲載のお知らせをご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

群馬大学 研究・産学連携推進機構

次世代モビリティ社会実装研究センター（担当：宇野・石坂） TEL：027-220-7443